

応急仮設住宅等からの移行期における対応

集合住宅における “集い場”づくり

東日本大震災被災地での、新しいコミュニティの事例紹介をとおして、住民の見守り、支え合いを進める支援や、集合住宅における“集い場”づくりの手法について学びます。

2017年

10/18 (水) 13:00-16:30

釜石会場:岩手県水産技術センター

10/19 (木) 13:00-16:30

山田会場:山田町保健センター

● 講師

広田 純一氏

岩手大学 農学部 教授

1954年東京生まれ。1978年東京大学農学部卒業。1983年に博士課程修了(農学博士)。東京大学助手を経て、1985年岩手大学講師。1999年に教授、現在に至る。

専門は農村計画・地域計画。1990年代後半より学生とともに、県内外の地域づくり活動支援に携わり、2005年に特定非営利活動法人いわて地域づくり支援センターを立ち上げ(理事長)。東日本大震災後は、地域コミュニティの再建支援を中心に、国、岩手県・被災地市町村の復興構想・復興計画の策定に関わる。

船戸 義和氏

岩手大学 三陸復興・地域創生推進機構 地域コミュニティ再建支援班

1978年タイ王国バンコク生まれ。2001年自由学園最高学部教養学部思想・歴史研究室卒業。2009年SIT Graduate Institute(米国)卒業。

2011年4月からNGO職員として復興支援に携わり、岩手県大船渡市に駐在。現地責任者として、当初から受益者が支援に頼らず自立するための仕組みづくりに焦点を当て、仮設住宅のコミュニティ形成や、交流人口増加を目的に地域住民が運営する体験プログラムの開発などを支援。岩手県の沿岸4市町(山田町、大槌町、大船渡市、陸前高田市)で20か所余りの災害公営住宅に関わり、コミュニティ意識の醸成や担い手の育成に力を入れる。

住民実践者 登壇予定 ※現在選考中

●定員: 60人

●申込締切: 10月10日(火)

●主催: 岩手県

●運営: 全国コミュニティライフサポートセンター

〒981-0932 宮城県仙台市青葉区木町16-30 シンエイ木町ビル1階

TEL. 022-727-8730 FAX. 022-727-8737 Email. kenshu@clc-japan.com

